

# 研究発表会

◆日時：平成24年11月30日(金)  
13:30~16:45(13:00開場)

◆会場：星陵会館ホール  
(星陵会館 2階)  
東京都千代田区永田町2-16-2

## ご案内

平成24年10月

拝啓 ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、弊センターは昭和51年10月の設立以来、関係各位のご指導、ご支援を仰ぎながら、放射性廃棄物の安全かつ合理的な処理処分の実現に求められる様々な試験、研究、開発、調査等を推進し、その成果の普及に努めてまいりました。

現在、原子力をめぐる環境は大きく変わりつつありますが、放射性廃棄物に特化した研究機関として、社会から求められる調査研究等に取り組んでいます。

このたび、平成24年度研究発表会として、弊センターがこれまで実施してきた研究成果の報告と東京大学大学院 堀井秀之教授をお招きした特別講演を企画いたしました。

ご多忙中とは存じますが、各位のご来駕を頂きたくご案内申し上げます。

敬具

公益財団法人 原子力環境整備促進・資金管理センター  
理事長 並木育朗

### 特別講演概要

東日本大震災における福島第一原子力発電所事故の分析の結果を示し、津波対策・シビアアクシデント対策が不十分であった要因を解説する。さらに、原子力発電所事故から学ぶべき教訓と今後なすべきことを論じ、高レベル放射性廃棄物の処理事業に対する示唆を検討する。

#### 講師紹介

1980年東京大学工学部土木工学科卒業、1981年ノースウェスタン大学大学院修士課程、1983年同博士課程修了後、東京大学工学部土木工学科助教授等を経て、現在は、東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻教授・東京大学知の構造化センター長。専門は社会技術論、安全安心研究等幅広く、高レベル放射性廃棄物地層処分の社会技術的な研究にも取り組む。著書は「問題解決のための『社会技術』」、「安全安心のための社会技術」、「社会技術論：問題解決のデザイン」等多数。東京電力福島原子力発電所における事故調査・検証委員会（委員長畑村洋太郎）社会システム等調査チーム長。

# プログラム

開 会 (13:30)

1. 挨拶 (13:30~13:40)  
理事長 並木育朗

2. 研究発表  
(1)「TRU廃棄物の地層処分における評価上の重要核種への対策について  
-ヨウ素129対策を中心に-」 (13:40~14:10)  
処分材料調査研究プロジェクト チーフ・プロジェクト・マネジャー 大和田 仁

(2)「地層処分場でのモニタリング技術の開発  
-地中無線通信技術による-」 (14:10~14:40)  
処分工学調査研究プロジェクト プロジェクト・リーダー 江藤 次郎

(3)「地層処分場の操業技術  
-技術開発と理解促進-」 (14:40~15:25)  
処分工学調査研究プロジェクト チーフ・プロジェクト・マネジャー 朝野 英一

休 憩 (15:25~15:45)

3. 特別講演  
「福島第一原子力発電所事故の要因と学ぶべき教訓」 (15:45~16:45)  
東京大学大学院 工学系研究科 社会基盤学専攻 教授 堀井 秀之

閉 会 (16:45)

## 星陵会館ホール(星陵会館 2階)案内図

〒100-0014 東京都千代田区永田町2-16-2

電話03-3581-5650 FAX 03-3581-1960

ホームページ <http://www.seiryokai.org/kaikan.html>



### ● 交通ご案内

東京メトロ有楽町線、半蔵門線、南北線 永田町駅6番出口徒歩3分

東京メトロ千代田線 国会議事堂前駅 5番出口 徒歩5分

東京メトロ南北線 溜池山王駅5番出口 徒歩5分

東京メトロ銀座線、丸の内線 赤坂見附駅11番出口 徒歩7分

参加希望の方は、11月16日(金)までに当センターのホームページ (<http://www.rwmc.or.jp/>) からお申し込み頂くか、同封の用紙に必要事項を記入の上ファクシミリにてお送りください (03-3534-4567)。

なお、定員(250名)になりましたら、申し込みを締め切らせていただきますので、ご了解ください。

公益財団法人 原子力環境整備促進・資金管理センター  
(原環センター) 企画部

〒104-0052 東京都中央区月島1丁目15番7号

(パシフィックマークス月島8階)

電話 03-3534-4511(代表) FAX03-3534-4567

ホームページ <http://www.rwmc.or.jp/>